

# 令和6年度徳島県立徳島中央高等学校及びしらさぎ中学校 第2回学校運営協議会 議事録

1 日時 令和6年11月27日(水) 午後2時から午後4時まで

2 場所 徳島県立徳島中央高等学校 2階 視聴覚教室

3 会議

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 学校長あいさつ

(4) 本校の防災活動について

## ◆各課程から活動紹介

(質疑応答・感想など)

- ・防災については、自助・共助の考えが大事。各課程の発表もそれぞれの特徴が生かされ良かったと思う。夜間部はナイトウォーキングを実施し、災害時の避難の対処として必要なことだと思った。昼間部のロープワークや通信の垂直避難についてもよく理解できた。しらさぎ中学校は国籍や年齢も様々な中で素晴らしい防災教育を行っていると感じた。
- ・学校と地域との連携も重要と思う。
- ・通信では登校した生徒が把握できないとのことだが、理由は何か。  
→ 通信ではそもそも欠席という概念がない。授業が終わるまで欠席かどうか分からない。
- ・登校した生徒を把握できるアプリがある。それを活用すれば、災害時の情報を発信する際もメールより既読率が高い。アプリを使えば課題が解決できる。
- ・しらさぎ中学校では貯水をトイレに流さないのは何故か。  
→ 災害時にパイプが破損している可能性があるためだ。
- ・災害時には様々な情報が拡散する。誤った情報に惑わされないようにしなければいけない。
- ・災害時には避難場所を家族で確認することが大切と思う。
- ・家族が生存確認できるよう普段から話をするのが大事。
- ・12月に大規模な防災イベントが徳島市であるので是非参加してほしい。生徒にも周知してほしい。
- ・各課程で実施した避難訓練ではどのくらい時間がかかったのか。

→ 夜間部は約3分、昼間部は10分以内、通信は15分前後、しらさぎ中学は約3分。

- ・避難場所は地域によっては垂直避難というところもある。まずは自分の命を守ることが最優先。それを子ども達に伝えてほしい。
- ・各課程の取り組みは素晴らしいと思った。ナイトウォーキングやビニール袋に米を入れて炊くなど初めて見た。
- ・しらさぎ中学校の避難訓練では、生徒の反応はどうだったか。
  - 母国で災害が少ない場合は防災意識が低いケースがあるが、日本で起こる災害や防災教育について可能な限り丁寧に指導していく。
- ・避難訓練は毎年実施しているのか。
  - 毎年定期的に実施している。
- ・日本は災害列島、これまでの大災害の教訓を生かしても被害は出る。徳島県防災センターを訪問し様々な体験をしていただきたい。
- ・学校としては、地域といかに繋がるかが大事。防災イベントや地域との交流活動の機会を大切にしてほしい。災害による非日常は突然やってくる。日頃から家族で話し合いをすることが大切。避難訓練では生徒、先生に対し不意打ちの訓練を実施してはどうか、災害に関して真剣に考える機会になると思う。安否確認も大事だ。災害時の安否確認の体制は整備されているか。
  - 不意打ちの訓練については検討していく。安否確認はさくらメールを活用できる。

#### (5) その他

- ・学校の良さをHP等、様々な方法で発信するよう検討してほしい。

※ 今後の日程について事務局から連絡

#### (6) 閉会